

「企業局経営計画 令和5年度進捗状況及び評価」について

1. 企業局経営計画の評価

「企業局経営計画」：平成29年度を初年度とする10年間

【令和5年度評価案】

項目数	進 捗 状 況			
	A 順調または妥当	B 概ね順調または概ね妥当	C 要 努 力	D 要 見 直 し
53	49(92%)	3(6%)	1(2%)	0(0%)

2. 令和5年度の実績

(1) 順調または妥当（主なA評価）

経営目標1 「社会貢献の加速」

○スマート回廊を核とした地域振興

【No. 4】 カヌー・SUP拠点施設を活用したツーリズム催行回数

【 KPI : R5 4回 】

→ R5 SUP体験など計6回実施

○県民理解の促進

【No. 13】 水素を初めとする多様な自然エネルギーの学習機会の提供

【 KPI : 川口エネ・ミュー年間延べ体験者数（バーチャル含む） R5 18,300人 】

→ R5 川口エネ・ミュー体験者数：21,245人

経営目標2 「安全安心の確保」

○発災時の応援協定等を有効に機能させるための訓練の実施

【No. 24】 四国4県及び鳥取県との相互応援協定、建設業及び設備業協会との応急復旧工事協定の活用

【 KPI : 訓練の実施 3回以上／年 】

→ R5 「鳥取県との相互応援協定」に基づく支援要請訓練など 3回実施

○適正な施設の維持管理とDX実装による工事、維持管理業務等の効率化

【No. 26】 設備の保守管理等でのドローン（水中ドローン含む）の活用

【 KPI : ダム・発電所等における点検時のドローン活用件数（R2からの累計）

R5 8件 】

→ R5 発電所建物外壁状況の施設点検に空中ドローンを活用など 12件

経営目標 3 「経営力の強化」

○駐車場事業の経営健全化

【No. 42】 駐車場利用者の利便性や安全・安心の向上等を図り、利用台数を確保

【 KPI : 利用台数20万台以上／年へ回復 R5 18.5万台】

→ R5 コロナ禍前のR元年と比べても同水準まで回復 利用台数194,662台

○資金の効率的運用

【No. 48】 有利な運用利率の確保と検討

【 KPI : 効率的な資金運用の実施 】

→ R5 債券運用を開始。(R5購入(額面): 国債7億円、地方債21億4,200万円)

(2) 概ね順調または概ね妥当 (B評価 3項目)

※ K P I の数値目標が8割以上であったもの

経営目標 3 「経営力の強化」

○働き方改革の推進

【No. 28】 電子決裁システムの利用促進

【 KPI : 利用率 毎年100% 】

→ R5 「業務効率化」「生産性の向上」のため本格的移行に努めたが利用率 99%

○未売水の低減対策

【No. 40】 新規需要の開拓や雑用水としての利用拡大等による契約水量の増大

【 KPI : 契約有収率 (契約水量／給水能力) R5 74% 】

→ R5 吉野川北岸工業用水道において契約水量100m3／日の増量があったが契約有収率73%

○駐車場事業の経営健全化

【No. 44】 藍場町地下駐車場エレベータ周辺のモニター設置による局広報及び広告収入の開拓

【 KPI : 広告収入動画の放映 】

→ R5 デジタルサイネージを活用し、民間事業者の事業PRを公募

(3) 要努力 (C評価 1項目)

※ K P I の数値目標が8割未満であったもの

経営目標 1 「社会貢献の加速」

○森づくりの支援

【No. 8】 町等が実施する森林の除間伐・植林等を支援

【 KPI : 森林整備 (除間伐・植林等) 支援面積 100ha以上／年】

→ R5 那賀町等が31haの森林整備を実施